

(仮 訳)

プレス・リリース

2013 年 3 月 21 日
バーゼル銀行監督委員会

バーゼル銀行監督委員会による市中協議文書「銀行の外部監査」の公表

バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委」)は、本日、国際監査・保証基準審議会(IAASB)に対する要望書と合わせて、「銀行の外部監査」と題する銀行監督上のガイダンス文書を公表し、市中協議に付した。

本市中協議文書は、バーゼル委の既存のガイダンス文書、すなわち、「銀行監督当局と銀行の外部監査人との関係」(2002 年)および「外部監査の品質と銀行監督」(2008 年)を強化し、これらに取って代わることを目的とするものである。過去 10 年にわたる銀行実務の発展および新基準・新規制の導入が、当該バーゼル委の監督上のガイダンス文書の大幅な改訂の必要性の根拠となっている。加えて、今般の金融危機は、銀行の外部監査の品質を改善する必要があることを明らかにした。本市中協議文書は、下記の点に関する銀行監督当局の期待について規定している。

- ・ どのようにして銀行の外部監査人がその責任をより実効的に果たすことができるか、
- ・ どのようにして銀行の監査委員会(あるいは監査役会)が、外部監査に対する監視において、監査の品質に貢献できるか、
- ・ どのようにして外部監査人と銀行監督当局の間の実効的な関係を、双方に有益な情報の定期的な交換に繋げることができるか、
- ・ どのようにして銀行監督当局と監査監督当局との間の定期的かつ実効的な対話によって、銀行の外部監査の品質を向上することができるか

バーゼル委の IAASB に対する要望書は、銀行監査に係るより権威のあるガイダンスを含むよう、国際監査基準(ISA)を改善することを求めている。当該要望書は、改善されるべきとバーゼル委が確信している ISA の特定の分野についても提示している。

バーゼル委議長を務める、スウェーデン中央銀行のステファン・イングベス総裁は、「バーゼル委は、銀行の外部監査および監査委員会に対して監督当局が期待するこ

とについて、最近の経験に基づき、その水準を引き上げる手助けをするためのガイダンス文書を策定している。我々はまた、監査基準が極めて重要であることを認識しており、IAASB が監査の品質を向上させるのを支援したいと切に願っている。」と述べた。

本市中協議文書に対するコメントは、**2013 年 6 月 21 日(金)**までに、電子メールで baselcommittee@bis.org 宛に提出することが求められる。あるいは、「スイス連邦、CH-4002 バーゼル市、国際決済銀行、バーゼル銀行監督委員会事務局」宛にコメントを郵送することもできる。全てのコメントは、コメント提出者が明示的に機密扱いを要求しない限り、国際決済銀行のウェブサイトに公表されうる。